

議会報告会結果報告

開催日時	令和5年（2023年）5月20日（土）10時～12時			
開催場所	大船学習センター3階 第1集会室			
出席議員	班長	中里 成光		
	司会	井上 三華子		
	後藤 吾郎	武野 裕子	岡田 和則	児玉 文彦
	高野 洋一	久坂 くにえ	池田 実	納所 輝次
	くりはら えりこ	吉岡 和江	志田 一宏	中村 聡一郎
	大石 和久	竹田 ゆかり		
参加人数	15人			
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年（2023年）2月定例会の報告 （各常任委員会、一般会計予算等審査特別委員会） ・意見聴取 （テーマ『～市民みんなで考えよう～ 子育て世代が鎌倉市にもとめるもの』） 			
内 容	<p>【委員長報告への質疑】</p> <p>Q1：ごみの個別収集に関し、なぜ急に進める事になったのか。 A1：市長の政策。現在、高齢化が課題となって来ている。</p> <p>Q2：ケアラーの洗い出しはどのように行うのか。 A2：SNSやメールを含めて広く行っていく必要がある。また各部、各課にわかれているところを取りまとめる必要がある。</p> <p>Q3：0～2歳児の医療費無償化の話は出なかったのか。 A3：今後の議論となる。</p> <p>Q4：小児医療費の所得制限撤廃なのか。 A4：所得制限撤廃の上、18歳まで無償化となった。</p> <p><意見・要望></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアラーに関しては、声の出し易さが重要。 ・深沢小学校周辺の工事車両の出入りに関し、安全性を考えた協議を進めてほしい。 ・コロナワクチンだけでなく、おたふく風邪などのワクチン接種もすすめてほしい。 <p>【意見聴取での意見】 （子育て全体について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場をもっと知ってほしい。 ・練馬区では、乳幼児から大学生に至るまでの、切れ目のない支援体制が構築されて 			

いる。

- ・鎌倉市は、縦割りで課もバラバラで、支援がブツブツ切れている。
- ・ファミリーサポーターのなり手が居ないとこの事だが、700円／1時間という最低賃金にも満たない状況は改善すべき。
- ・人口減少時代には、大きな目で見に行かないといけない。
- ・社会全体で若い人が争奪合戦となっている。鎌倉は若い人をどうやって獲得するのか。
- ・子どもの声が騒音扱いされる世の中はおかしい。
- ・子どもが老人と接する機会を増やし、多世代交流を進めてほしい。
- ・40～50代のパパ世代が、今日のような場に参加していない事が問題。
- ・相談窓口というよりも、気軽に行ける場が必要。
- ・子どもが、大人と出会うチャンスが無い。
- ・給食が残るのであれば、捨てるのではなく、産後の体力が無くなっている授乳期のお母様に提供する、子ども食堂で活用するなどすべき。
- ・子どもは顔、口を見て言語を覚えるのに、大人がマスクを付けたままでは、子ども達にとって有害。
- ・子ども達が同調圧力に影響を受けている。
- ・男女が語り合える場を作る事が、将来的に少子化対策にもなる。

(居場所について)

- ・子どもにとって何より大事なものは「子どもの居場所」。特に子どもにとっての居場所というのは、行きたいところに行けること。しかし市は子ども会館を閉館してきた。市民にその情報が届いていない。青少年を含めた異年齢の居場所をつくってほしい。
- ・附属小学校に通わせているが、学童保育は自宅の近くと決められている。行くのに時間がかかること、知らない子どもの中では馴染めなかったことから3回しか行かなかった。私立小学生もいるため、検討してほしい。
- ・冒険遊び場が知られていない。100人ほど来ている。駐車場は1回500円で、電車、バスを使うより安いので、たくさん来ている。ぜひ見学に来てほしい。
- ・かまくらっ子に気持ちよく行けているのか、子どもから聞いてほしい。どういう心情で行っているのか。かまくらっ子は外にもなかなか出してもらえない。子どもの生の声を聞いてほしい。
- ・子どもの居場所は箱物ばかりではない。公園の活用もあると思う。その場合はトイレの設置が必要。
- ・市は市民を巻き込んで一緒に居場所づくりをしていく方法もあるのではないかと。夏休みのイベントから始めるなど。町田などの例を見てほしい。多年齢の施設が必要。
- ・シニアと交流できる、つなげるシステムがあるといい。
- ・子ども会館もなくなった。地域で子育てをしたいのに糸が切れた。民間だけに任せず行政が呼びかけてほしい。
- ・第3の居場所づくりが必要。

- ・学童で対応するスタッフが少ないので、目が行き届かない。
- ・放課後かまくらっ子が出来た事は良いが、居場所の数がまだまだ足りない。
- ・乳幼児が締め出されている。
- ・腰越に場所が無い。
- ・夏休みに行く所が無い。
- ・フリースペースを作してほしい。
- ・場所さえあれば、子育てを手伝いたいと思う人達（ボランティア）が集まれる。
- ・子ども会館や青少年会館の機能が必要。
- ・子どもと大人のつながりなどが、ヤングケアラーのケアにもつながる。
- ・すこやかセンターの空きを利用してはどうか。
- ・とにかく、拠点となる場所がほしい。
- ・行く事が大変な場所ではなく、誰からも利用しやすい場所にしてほしい。
- ・空き家活用で居場所づくりをしてほしいし、マッチングしてほしい。
- ・毎日行く場所として、小学校区に1つはほしい。
- ・横須賀のソレイユ、花の園など子どもが遊べる場所をもう少し作してほしい

（保育園について）

- ・民間保育園の送り迎え用の駐車場が遠い、市が借りられる場所を探してほしい。切実。
- ・入園には、フルタイムで働いている人が優先されるが、気軽に利用出来る状況が必要。
- ・女性の社会進出に対応してほしい。
- ・保育料無償化は、認可外の施設にも助成を。待機、一時預かりにも助成を。
- ・各種乳幼児の預かりサービスを一覧にし、手間をかけずに預けたい。
- ・保育士も良い方で、遊び方などを教えてくれて助かっている
- ・兄弟で別々の保育園に預けるのは大変なので考慮してほしい。
- ・岡本保育園内子育て支援センターなどスタッフも良質で助かっている。ただし、子育て支援センターなどの情報にすぐアクセスできなかった。
- ・保育園低年齢児の保育料は高すぎる。
- ・東京でも実施しており、保育料の無償化を検討してほしい。

（学校教育について）

- ・コロナ禍学校が休みの時にタブレットの活用が始まったが、不登校になっている子どものためにも、学校の状況、クラスの状況、授業の状況をタブレットで共有してもらえないか。
- ・タブレットで授業を受けた場合に、出席扱いにしてほしい。
- ・「命の授業」「命の安全教育」「性教育」に関し、予算を付けてほしい。
- ・学校によっては、助産師を呼んだ取り組みをしているが、「学校にお金が無い。」という声がある。
- ・「鎌倉やさい」を、小中の学校給食で使用してほしい。

(いじめ問題について)

- ・顔についてからかわれ、マスクを外すのが恥ずかしいという子がいる。
- ・学校ではおとなしい子が、学童で乱暴というケースがある。学童でヘルプを出している。学校での我慢を、学童で発散しているよう。学童保育と学校の連携が取れていないのではないか。所管が違うからなのか。

(安全対策)

- ・保育園では、がけ崩れ対策や建て替えの費用が確保できないという問題がある。市が補助してほしい。
- ・子ども達の通園通学路の安全性を担保してほしい（第一中学校等）。

(その他意見・要望)

- ・老人介護にも、ファミリーサポートが使える様にしてほしい。
- ・色々な世代の色々なニーズに対応してほしい。
- ・深沢にも多世代交流の場を作ってもらいたい。
- ・野村総研跡地や公園の利活用も進めてほしい。
- ・公園トイレを整備してほしい。
- ・議会からの情報はもう少し工夫した方が良い。
- ・今回の議会報告会の情報もあれでは届かない。
- ・移住してすぐにゴミ捨て場についての正確な情報がなく困った。環境部からの情報提供の仕方がよくない。
- ・今回の議会報告会のラインでのお知らせは、「子育て」のみでの登録者には伝わっていなかった。
- ・鎌倉の緑、海など豊かな自然に魅力を感じている。こうした魅力をより伝え、子育て富裕層の移住を促進すべきでないか。
- ・ヤングケアラーは、声の出しやすさ、行政の各課の連携を。
- ・市営住宅集約化で、深沢中学校に生徒が通う道路について心配がある。
- ・ごみ処理について、子どもが大きくなった時の市の処理体制が心配。
- ・ごみの個別収集は、現体制と両立できないのか。
- ・市内では個人事業主も多く、ネットワークも構築できて良い。
- ・発信情報が多すぎるため、チャットをもう活用するなど、もう少しセグメントを分けた発信をすべきでないか。
- ・鎌倉駅はホームから人が溢れるくらい多く、ベビーカーでは利用をしたくないほどである。